

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤
	全体計画						経費区分		義務的経費		内線	3644
事務事業名	4285 保育所運営委託事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の整備											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	030202 民生費・児童福祉費・児童措置費										
	事業	010000 保育所運営委託事業										
事業目的						事業概要・効果						
乳児保育、延長保育などの保育ニーズに対応するため、委託により保育の充実を図る。						市内の6私立保育園、認定こども園、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託を行い、多様化する保育ニーズに対応した。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	市内の5私立保育園、市外の公立・私立保育園26園に保育実施児童の委託を行った
平成26年度 実績	平成27年度 予定
市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託した。	市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		366,347	349,000
特定財源	国庫支出金	126,520	105,813
	都道府県支出金	60,496	52,906
	地方債	0	0
	その他	90,241	83,432
一般財源		89,090	106,849
人員数(人)	正規職員	0.1	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	685.8	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	685.8	0.0
市民一人当たりの経費		7.0	6.7
総額		367,032.8	349,000.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	366,347	
その他	0	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	349,000	保育所運営費負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育所の運営は市町村業務	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	公立保育園ではすべての保育ニーズに答えることはできないで大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	保育所運営費の金額は国が定めたため改善の余地はない	

振り返り（決算年度の取組み課題）

市内の6私立保育園（認定こども園）、市外の公立・私立保育園21園に保育実施児童の委託を行い、多様な保育ニーズに対応することができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>国の基準に基づき、私立保育所及び管外保育所等に対し適正な給付を実施している。</p>		<p>私立保育園への委託を実施し、多様化する保育ニーズへの対応を図っている。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	